

地方の某県土木部発注工事における工事関係書類の簡素化について

【表】 現場・検査書類・工事評定に関する意見、事例について

区 分	内 容	現状及び事例	意見及び検討事項	備 考
機械・設備関係	機械点検簿、日常点検簿	・事故・労災防止の為、点検簿を作成しているが、軽微な日常点検を入れると大量の管理量となります。	・点検確認は業者に一任し、点検簿の削減など簡素化をして頂きたい。 ※例…主要機械のみ点検簿を作成するなど。 ※例…軽微な日常点検は書類削減するなど。	主要機械 (バックホ、クレーン)等 軽微な日常点検 (保護具、安全施設)等
	低騒音・排出ガス証明 特定自主検査記録表	・機械写真に特定自主検査記録表、低騒音・排出ガス証明書をつけて提出している。	・各シール状況で確認できるので、写真管理による確認だけにできないか。	
建退共関係	建退共証紙の写し	・元請・下請共、手帳の写しを提出している。 ・建設業会や経営審査時にも証明は行っているため、重複業務となっている。 ※本来、検査時による証明が必要でしょうか。	・業者により、証紙(1日券・10日券)や貼付日(1ヶ月・1年)の違いがある他、工事期間中に手帳の更新があれば、更新前の手帳の写しは証明できないなど、対応に時間を要する。	
材料関係	納品伝票	・集計表を作成提出し、設計値との対比を行っている。伝票は、責任者が受領できず紛失する時もある他、工種などにより数百枚にもなり、再発行や整理に多くの時間を要している。	・不可視部分以外の材料は、集計表作成の削減をして頂きたい。 ・ <u>主要資材のみの伝票管理にできないのか。</u> ↑受注した工事で、要となる工種の材料。	
工事書類関係	工事書類の削減・簡素化	・工事の削減・簡素化を行い、提出を求める書類を、提示書類などに変更した。	・作成していた工事書類が提出から提示に変更しても、簡素化や業務量の減にはならない。	
		・施工計画書の提出を、請負額250万円以上となり、250万円以下については、施工計画書【簡易版】の作成が必要となった。	・施工計画書提出に対する請負金額の引き上げは助かりますが、結果、施工計画書【簡易版】により業務量が増えるのはおかしいと思う。	※例…10万円の工事で 施工計画書の提出を 求められた。
安全関係	安全管理書類	・安全書類が多く大変な上に、日々の安全管理では、作業員からの記入事項も多い為、仕事をする時間がもったいないと嫌がられる。	・安全管理は日々の積み重ねの為、現場管理と併用しての安全計画や資料作成などは負担が大きい為、簡素化に努めてほしい。	
		・また、社内独自の安全書類(ハザードマップ、是正指導、作業計画書、安全衛生計画、過積載防止の工夫など)を提出しても評価されなかったという事例がありました。	・ <u>発注者から提出を求める書類のみを評価対象とするなどし、発注者・受注者間の認識の違いを防止するなど統一を図って頂きたい。</u>	
イメージアップ	イメージアップ	・イメージアップは通常、特記仕様書で明記し費用を計上されている。近年は、イメージアップが浸透してきており、費用が計上されなくとも企業負担により、仮設トイレ、仮設ハウス、仮設電気、デザイン看板など工夫や作業環境作りに努力している業者もいます。	・建設業のイメージアップの為に、努力している業者には相応の評価をして頂きたい。	

地方の某県土木部発注工事における工事関係書類の簡素化について

【表】 現場・検査書類・工事評定に関する意見、事例について

区 分	内 容	現状及び事例	意見及び検討事項	備 考
設計照査関係	設計図書の照査	- 設計図書の照査を提出していますが、図面と現地とのズレが多く、図面修正、現地測量、計画変更など相当の時間を費やす時がある。 ※発注者の対応も遅く、業者が設計まで踏み込んでいる時もある。	- 設計業務でコンサルタント成果品のチェック体制を強化してほしい。よって、協議資料が減少する。 ※ワンデーレスポンスによる向上を進めて頂きたい。	
	工事測量成果表	KBM、基準点、境界、構造物との取り扱いなどを確認し、成果表を提出している。	成果表作成には、時間や知識、測量技術を要する為、相違がある場合のみ提出とするなどして頂きたい。	
下請関係	下請契約	下請契約できない事項に、主たる工種・同入札者は外注禁止・県外業者の下請は理由があるなどの縛りがある。	担い手不足が加速化している中、下請契約の緩和により、誰でも仕事ができる環境作りに協力して頂きたい。	
工事打合せ簿	提出方法	- 情報共有システム(ASP)対象工事であっても事務所によって、協議は紙、その他はメールでなど統一がされていない。 - 工事中はメールで行っているが、検査時には紙を用意している。	- 紙かメールかの区別がされていないので、統一して頂きたい。 - 監督員によっては、メールしても見ていないなどの事例もありますので、検査時の対応も含め、システムへの対応を強化して頂きたい。	
	根拠資料	設計変更に関する協議は、年々難しくなっている傾向にあり、明確な理由や根拠資料を求めているが、業者によっては高度な対応ができず、施工承諾で対処している現状です。	根拠資料の作成や、文献収集などに時間を費やす為、極力監督員への説明や、現地確認で省略できるようにして頂きたい。	
工事写真	提出方法	電子納品の場合、完成検査時のアルバム帳の作成は不要であるが、紙の工事写真帳を求める監督員がいる。	完成検査時は、パソコンやプロジェクターで確認できれば、工事写真帳は不要と思います。	
	撮影頻度	写真管理は「写真管理基準」に基づき行う事となっていますが、写真整理に多大な時間を費やしている。	監督員や検査時では、基準との対比や、すべての写真を見ているわけではないので、撮影頻度の緩和を検討して頂きたい。	
新技術活用(NETIS)	新技術活用評価	- 新技術活用(NETIS)は公共工事に関する優れた技術を持続的に創出していくため、積極的な新技術の活用を目的とし整備されており、工事成績評定では加点対象となっています。 ◆活用した新技術〈抜粋〉 ・おんどりくん・大型土のう製作治具	新技術活用(NETIS)を現場活用しましたが、軽微な技術は活用しても評価できないと言われた。有用な新技術を積極的に活用する目的としているならば評価して頂きたい。	

地方の某県土木部発注工事における工事関係書類の簡素化について

【表】 検査書類・工事評定に関する意見、事例について

区 分	内 容	現状及び事例	意見及び検討事項	備 考
完成検査	検査官(監督員含む)	◆検査事例(抜粋) ・カルバート工(ヤスター工法)において、製品底面の充填工では、<u>ミミ外伝票・吹出しによる管理を行ったが、本当に充填できているのかなど工法や設計を否定しているかのようだった。</u> ・写真のアップを求められ、ここに不陸が見られるや、土が軟弱そうだけなど言われた。 ・建退共の出面と、KY活動の作業員に相違があり、間違い探しのように長時間検査された。	・完成検査時に指摘を受けた項目に関しては、水平展開し、改善に取り組むよう努めていると思いますが、<u>過度な検査や設計業務段階での指摘については答弁しきれないとの声がありました。</u> ・他にも、出来形・品質管理しか確認しなかったなど、<u>時間を費やし書類作成しているのだから、すべての書類に目を通してほしいとの声がありました</u>	
工事成績評定	工事書類・評定点	・工事書類については、近年、きめ細かな管理が求められています。このような中、業者は良い目的物の完成や、工事成績評定アップの為に、こんな書類があったらいいなという思いの中で、社内独自の書類などを作成していますが、思いのほか工事成績評定への評価につながっていないようです。 ◆具体的な書類例(抜粋) ・材料チェックシートを作成し、ロット(全数)の製造日や外観検査(ひび割れ・角欠け・ペースト漏れ等)の品質確認を行っている。 ・社内検査員以外に、品質証明員による立会を実施して記録簿として残している。 ・安全計画書、作業計画・手順書、是正指導書、安全ハザードマップ、過積載防止関係の工夫など提出を求めない安全書類を提出している。 ・KY活動、安全巡視、機械・日常点検において写真を添付し、よりよい書類を作成している。 ・履行報告の際に、ドローンによる工事進捗や工程表を添付して分かりやすく報告している。 ・出来形管理評価を上げる為、社内管理測点を多くし、ばらつきに対する管理を行っている。	・工事書類の簡素化・削減が求められる現状の中で、「<u>工事検査関係規程集</u>」に含まれない<u>過度な工事書類の作成は評価の対象としない</u>などの旨について指導して頂くことで、評価における考え方の統一や、工事書類への対応についてご検討下さい。 ・工事成績は「工事成績採点基準」に基づきながら評定している事としますので、採点時には、監督員と業者をふまえ、採点して頂けるようお願いしたいです。 ◆例…監督員と業者による工事採点方法 (この項目に該当する書類はありますか) (〇〇がないのでこの項目は評価されません) (この項目は該当しないので評価されません) ・工事成績評定通知書「項目別内訳書」では、明確な採点結果の判断が分かりません。また、完成検査後は、<u>検査官より講評を頂いておりますが、評定点の講評についてもお願いしたいです。</u>業者の改善への取り組み方法の参考としていきたいと思っております。 ◆例…評定点の講評につて (〇〇がどうであるため〇点)	

